

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	介護する側、される側、本人を介護される一方の側という価値観、関係性をどうしても払拭しきれていないのが現状である	一人一人の入居者の人格を尊重し、常に暮らしの主体であることを意識した関係性を築く	日々の関わりの一つ一つが、本人視点になっているかを、常に検証する習慣をつける	12ヶ月
2	32 34	現状では、入院時のHrとのやり取りや、普段の主治医、訪看STとの連絡などほぼ管理者が全面的に行っているが、より多くの職員が医療との連携に係われるようになる必要がある	全ての職員が、日常的に入居者の身体状況や内服薬などに関心と知識を持つよう努め、訪看STや主治医との連携に参加できるようレベルアップを図る	少しずつ役割を振りながら、経験と実績を積む	12ヶ月
3	2	地域との交流に関しては、現状行事等を通したものに限定されている感が強く、地域から声が掛かるのに頼るところが大きい。地域の一員として日常的な関係を築いていきたい	地域から招いてもらう、ボランティアしてもらう関係から一歩進んで、日常的に気軽に立ち寄れる場所を目指す	地域の駆け込み寺としての機能や、子供たちにとって立ち寄る魅力のある場所づくり地域に常に開かれている場であること、入居者の姿が、常に地域に見えていることを意識し、目指す	18ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。